学校番号	307

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	自立・共生・創造　家庭基礎　（東京書籍）						
副教材等	2020 最新生活ハンドブック資料＆成分表						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業ではプリントを利用して行うので、まとめるファイルやノートを用意してください。単に空欄を埋めるだけでなく、授業を聞いてまとめたり、補足を記入したりして自分なりのノートを作るように心がけてください。また、家庭科の学習において、自分の意見を持つことや考えを文章にまとめる力も身につけてもらいたいと思います。

2　学習の到達目標

生活していく上で必要な基礎的な知識、技術や能力を習得し、「生きる力」を身につける。また、自立した生活ができる力、人とともに生きるための力、資源や環境との関係を形成する力を養う。そのために、実習や体験学習を取り入れて実践的、体験的に学ぶ。また、問題解決能力を身につける。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	学習内容について関心を持つとともに、家庭生活や社会の一員としての自覚を持ち、主体的に行動しようとしている。また、課題解決に向けて考えようとしている。	自分の人生や生活について考えを具体的にまとめたり、発表したりしている。家庭生活や社会の一員として何ができるか考え、工夫している。	主体的に生活を営むために必要な情報を収集･整理し、検討することができる。また、自分の意見をまとめる能力を身につけている。	基礎的･基本的な知識を習得している。自分らしく生きるために目標を持ち、生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さを理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、調理計画、製作計画、実習記録、レポート、発表、自己評価等。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、調理計画、製作計画、実習記録、レポート、発表、定期考査、自己評価・相互評価等。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、調理計画、製作計画、実習記録、レポート、発表、定期考査、実技評価、自己評価・相互評価等。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、調理計画、製作計画、実習記録、レポート、発表、定期考査等。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="7">1学期</td><td rowspan="5">自分らしい人生を作る</td><td>1．生涯発達の視点</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="5">a:各ライフステージの特徴と課題に関心を持ち、自分の人生や進路について考えを深め、具体的にまとめている。
固定的な性別役割分業を見直し、多様な生き方を認め、積極的に家族・家庭と社会とのかかわりを考えようとしている。
b:肯定的な自己概念を持ち、自分の人生や進路について考えを深め、具体的にまとめている。
家庭生活を支える法律や社会制度、ボランティアのあり方について考え、まとめたり発表したりしている。
男女共同参画社会の面から、各自が担う家庭での役割と自立について考え、まとめたり、発表したりしている。
c:家族や家庭生活のあり方などについて検討するために、新聞や書籍等から必要な資料を収集したり、調査したりすることができる。
d:生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。
青年期の課題や現代家族の特徴、家庭機能の変化、家庭生活と社会のかかわりについて理解している。
自分らしく生きるために目標を持ち、生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さや考え方を理解している。</td><td rowspan="5">学習状況
プリント記述
提出課題
定期考査</td></tr>
<tr><td>2．青年期の課題</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>3．目標を持って生きる</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>4．人生をつくる</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>5．家族・家庭を見つめる</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">衣生活をつくる</td><td>1．衣服の機能と素材</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="2">a:衣服の機能や素材についてを自らの課題として捉え、意欲的に授業に取り組めている。
b:衣服の機能や素材を理解し、気候や場面等 TPO に応じた適切な選択ができる。
c:基礎縫いの技術を身に付け、作品を完成させることができる。
d:衣生活について正しい知識を身に付けている。</td><td rowspan="2">学習状況
プリント記述
被服実習
定期考査</td></tr>
<tr><td>2．被服実習</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

2学期	子どもと共に育つ	1．子どもの育つ力を知る	○	○		○	a:子どもの発達や生活に関心を持ち、保育の重要性や社会の果たす役割を考えようとしている。 子どもを取り巻く環境や子育てにおける課題に関心を持ち、課題解決に向けて考えようとしている。 b:児童虐待や育児不安の事例を通して原因および解決について考えを深めようとしている。 子どもを取り巻く環境の変化と子どもを育てる意義、社会・地域・親の果たす役割について考え、まとめたり発表したりしている。 c:子どもの生活や子どもを取り巻く環境、子育てにおける課題などについて情報を収集したり、調査することができる。 d:子どもの心身の発達や生活と環境のかかわりについて、家族および地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。社会全体で子育てを支援する必要性を認識し、子どもの権利と福祉について理解している。	学習状況 プリント記述 提出課題 定期考査
		2．親として共に育つ		○		○		
		3．子どもの生活	○	○	○			
2学期3学期	食生活を作る共に生き共に支える	1．食生活の課題について考える	○	○		○	a:自分や家族の食生活に関心を持ち、食生活と健康のかかわりを考え、意欲的に食生活の改善・向上に努めようとしている。 食生活の安全と環境について考えようとしている。 b:現代の食生活と食事の意義について思考を深めている。栄養と健康な食生活の関わりについて考えている。食生活をめぐる近年の事例から、食生活の安全性や環境について思考を深めている。 c:主体的に食生活を営むために必要な情報を収集・整理し、検討することができる。 d:食事と健康との関わりについて理解している。	学習状況 プリント記述 提出課題 定期考査 学習状況 調理実習 プリント記述 提出課題 定期考査
		2．食事と栄養・食品	○			○		
		3．これからの食生活	○	○	○	○		
3学期	経済生活を営む	1．国民経済・国際経済と家庭の経済生活	○			○	a:生涯を見通した経済計画について関心を持ち、自立した消費者として行動しようとしている。 消費生活における課題や消費者の権利と責任について理解しようとしている。 適切な情報の取捨選択や活用に関心を持ち、消費行動における意思決定の重要性について考えようとしている。 b:経済的自立と職業について考えを深めている。 消費行動における意思決定について具体的な事	学習状況 プリント記述 提出課題 定期考査
		2．現代の消費社会	○	○		○		

		3．消費者の権利と責任	○			○	例を踏まえて主体的に考え、適切に判断できる。消費行動と環境との関係について自身の生活と関連させて課題を見出し、生活の質を向上させるためにどのような消費生活を築けばいいか考え工夫している。 c:家庭の経済生活の諸課題の事例を収集･整理したり、生涯を見通した経済計画を立てたりすることができる。生活様式の見直しや環境に調和した生活など、自分の消費行動を検証することができる。 d:生涯を見通した経済計画の重要性について理解している。家庭経済と国民経済の関わり、家計の管理や経済計画の重要性を理解している。消費者問題の現状や消費者の権利と責任について理解している。消費行動における意思決定の重要性を理解している。	
		4．これからの消費生活と環境	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。